

動物園学 I

AC 専門科目 1年 前期・後期 132 時間 9 単位 講義

講師 葛西宣宏・野瀬修央 東昌範

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物園/水族館における動物の展示・繁殖・研究・解説・飼育管理
学科・クラス指定等	1 年生 AC コース
学習目標	近年、動物園の域外保全の役割が増していくなか、教育普及事業の充実もより一層増して求められている。動物園を利用する来園者もリピーターが増加し、学校関係の利用も、校外学習やキャリア教育の一環での利用が日々増加している。利用者に対しリアルタイムで正確な情報提供のできる知識や作文能力、対応能力の育成を目指す。
学 び の キーワード	動物園の歴史 法律 国際条約 協定 規則 動物園水族館協会 異常行動 命名法 分類学 個体識別 記録 動物福祉 エンリッチメント 繁殖 保全 導入 健康管理 飼料 動物園研究 標本 自然保護 輸入 ハズバンダリートレーニング 利用者実態調査
準備学習及び復習の内容・履修条件	配布される教科書を通読しておくことが望ましい。板書した講義内容は必ず復習をしておくこと。
授業方法	全ての講義はホワイトボード・映像等を利用して板書される。必要に応じて資料を配布するが教科書に基づいて行う。原則として学期末試験を実施して学習深度の向上を図る。必要に応じて段階的な理解を深めるために中間試験を実施する場合もある。
成績評価基準	試験において学びのキーワードを理解していること。講義への出席 30%、期末試験 70% で評価する。授業内容はスケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備 考	
授業回数	授業内容
1 動物園学総論	人と動物の関わり、動物の家畜化、動物園の萌芽・歴史
2	わが国の黎明期、明治・大正時代、昭和初期の動物園
3	動物園の役割の変化 動物園の哲学
4	動物の権利と福祉 動物園の理念と倫理
5	動物園を取り巻く法規制 各国の法律と制定過程について
6	国際条約 協定 規則

7	EU の動物園の関係法令
8	英国における法規制とガイドライン
9	各国の動物園協会：EAZA AZA WAZA 等
10	EU 圏以外の動物園に関する法律
11	日本における関係法令及び条約・協定・規則
12	動物園生物学（動物学、野生動物飼育学）
13	動物園生物学の研究動向 研究体制
14	分類と分類学 自然（系統）分類と人為分類
15	現在の分類方法 新しい分類学の流れ DNA 分析による分類
16	分類の階級 種の概念 亜種と種と種分化の関係
17	国際命名規約（学名） 二名式命名法の原則他の原則
18	脊椎動物の分類 分類例とその特徴 分類体系
19	両生綱（類）・爬虫（綱）類の特徴と分類体系
20	鳥（綱）類の特徴と分類体系 哺乳綱（類）の特徴
21	生理（哺乳類、鳥類、両性・爬虫類）
22	生態 動物生態の理解 適切な飼育環境の実現